

## 令和5年度 能代市教員派遣研修報告

### 1 目的

能代市立小・中学校における授業参観や協議会等を通して、能代市の教育について学び、豊島区の教員の授業力向上を図る。

### 2 研修内容

時期	内容
(1) 事前	①授業における自校の課題を明らかにする。 ②①の課題を改善するために、能代で学びたいことを明らかにする。
(2) 当日	①自校の課題に即した視点で授業を参観する。 ②自校の課題を改善するための方策を見いだすため、協議会を行い、能代市の取組について理解を深める。
(3) 事後	①学んだことをもとに、「能代の教育から学ぶ!授業改善のポイント」を作成する。 ②各校において研修や授業改善を行う。 ③授業改善による児童生徒の変容を見取る。

### 3 参加者 教員12名 事務局3名

校長	池袋本町小、さくら小、西巣鴨中	主任教諭	清和小、朋有小、南池袋小、清和小、巣鴨北中
副校長	千早小	教諭	豊成小
主幹教諭	巣鴨小、目白小	事務局	指導課長、統括指導主事、指導主事

### 4 行程

10月31日 (火)	小学校 教員	能代市立浅内小学校 視察	学校経営方針説明 5校時 全クラス 授業観察 協議会 ・本日の授業について ・Friend School 相手校との意見交換
	中学校 教員	能代市立能代南中学校 視察	5校時 1・2年生 授業観察 学校経営方針説明 協議会 ・本日の授業について ・小中のつながりについて ・家庭学習について
11月1日 (水)		能代市立湊城西小学校 視察	学校経営方針説明 2校時 5クラス 授業観察 3校時 5クラス 授業観察

#### 4 授業視察内容

各校の課題を基に、以下の2点を、区としての授業視察の視点とした

##### 視点1 めあてとまとめの一体化・振り返り

- ・めあては子供の意見から決め、一人一人にとって「自分事」となるようにしていた。
- ・まとめは子供が自分の言葉で書いていた。教師は、キーワードを子供から出させて板書し、全員が自分で書けるよう支援していた。
- ・めあてとまとめが正対していた。
- ・小学校の授業のスタイルが、中学校でも引き継がれていた。



##### 視点2 教師のファシリテート

- ・話し合いを子供たちだけで進めるための学び方(浅内小「Action!タイム」)が身に付いていた。
- ・教師は、子供の意見が出るまで待つ、子供の意見を復唱せず別の子供に説明させるなど、子供たち同士の意見をつなげる役に徹していた。
- ・自分で考える場面と、考えたことを発表する場面で机の向きを変えていた。今何をする時間なのかが分かり、集中して考えたり、主体的に話し合いに参加したりすることにつながった。



#### 5 今後について

##### (1) 研修参加者から校内への還元

研修に参加した教員が行う校内研修や能代市での学びを生かした授業の様子を視察する。

##### (2) 指導課から区立学校への還元

研修に参加した教員の報告書をもとに、授業改善のポイント(めあてとまとめの一体化・振り返り、教師のファシリテート)として活用できる資料「としまっ子の学び」(仮称)を作成する。